

宮城野区自主防災活動研修会で講演しました(2016/2/9)

テーマ：自主防災活動，仙台市地域防災リーダー（SBL），宮城野区
場所：宮城野区文化センターパトナホール

2月9日（火），仙台市宮城野区文化センターパトナホールにおいて，宮城野区自主防災活動研修会が開催されました。主催は仙台市宮城野消防署であり，宮城野区内の町内会長，仙台市地域防災リーダー（SBL），消防団，婦人防火クラブ，学校関係者など，約200名が参加しました。

内容は，「講演」，「自主防災活動の事例報告」，「参加者ワークショップ」であり，講演では，佐藤 健教授（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）が，「SBL 養成と町内会の連携について」と題して講演を行いました。講演の内容は，SBL 養成の基本コンセプトや SBL 養成と町内会との連携のあり方に加えて，災害に強い地域づくりと持続可能な地域づくりの両立の視点が示されました。

また，「自主防災活動の事例報告」では，若林区南材地区町内会連合会の菅井茂氏，岩切地区町内会連合会の吉川時夫氏・菅野澄枝氏から，SBL が活躍した形で特に学校と連携した地域防災活動についての活動事例が報告されました。

最後に，参加者全員が連合町内会のエリアごとに関係者でグループをつくり，「地域の、いまーむかしーこれからに向けて」というテーマで，自主防災活動の現状と課題，今後の取り組みについて意見交換するワークショップが開催されました。ワークショップ形式により，参加者が主体性を持つとともに，双方向のコミュニケーションが可能となり，一方的，かつ説得的な研修とは異なる研修効果が得られました。

仙台市は，仙台市全体で災害に強いコミュニティのための市民フォーラムを定期開催しており，地域防災活動を活性化するための貴重な情報共有の機会を提供していますが，宮城野区で開催された本研修会のように区としての情報共有・情報交換の場を加えて設けることは，地域防災力の高度化を後押しする機会となります。



活動事例報告



ワークショップ



研修成果報告

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）